

---

# リリカルマジカルナンカイル

ピッツァ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

リリカルマジカルナンカイル

### 【Nコード】

N6164Z

### 【作者名】

ピッシア

### 【あらすじ】

原作と転生者が交差する時物語が始まる…的な

## ヒーロープロローグ(前書き)

短いですが

## ヒーロープロローグ

うっ、うっ

「やあ！どうしたんだいこんなに

空が青いのになんて泣いてるんだい！」

ひっ！だ、誰？

「俺の名前何んでもいいじゃないか！

それよりもどうしたんだい？」

お、お父さんがけ、怪我して

お、お兄ちゃんがこ、怖くなって

お母さんやお、お姉ちゃんがい、忙しくなって

なのはが、な、なのはが

「そうか！何だか分からないがヒーローが不足してるんだな！」

えっ？

「世界にはヒーローが足りない！圧倒的に足りない！

世界がうまくいってない理由を知ってるか！」

し、知らな「そう！ヒーロー分が不足してるからだ！」

「今回は俺が助けてやるがヒーロー分が不足してる時には

君もヒーローになって困っている人を助けるんだぞ！」

えっ？えっ？えっ？

「な……………は」

「君も明日からヒーローだ！という訳だ」

「……………の……………」

「努力だぜヒーロー！友情だぜヒーロー！勝利だぜヒーロー！」

「な……………のは」

「ヒーローは強い！なぜならヒーローは……………」

「なのは……………！」

「強いからだ！！」

「だから君もヒーローになるんだ！さて先に君を救うとしよう

君の家はどこにあぶるばっ！！！」

「なのは大丈夫か！」

お、お兄ちゃん！？

「なのは、心配したじゃないか……」

『心配』？

お兄ちゃんが？

「当たり前じゃないか……  
母さんだって美由紀だってもちろん父さんも  
みんな心配してるよ……」

う、う、う、う、う

「さあ帰ろっ……皆待ってるよ……」

……うん……うん！

「……………負けないぜ……………ヒーロー……………」

この会うはずでは無かった邂逅も

意味は無かった……………

結局この後高町なのは

は家族に迷惑をかけまいと

? いい子? になってしまっし

アリサ・ハニングス

月村すずか

と友達になり

魔法と出会っだろう

……………しかしあいつにヒーロー思考何てあったか?  
転生させる前は20歳の会社員だぞ……………

b y ; 神

## ヒーロープロローグ（後書き）

どう見ても柏木十字架です

本当にありがとうございます

## ヒーロープロローグと中二病（前書き）

前より微妙に長いです

## ヒーロープロローグと中二病

小学校に入学してからしばらくたったある日  
ある事件が起こった

外から見れば小さな事だけれど関わった人には大きな  
事件……

あ！あれは……喧嘩……というよりも  
金髪の子が紫の髪の子をいじめている？

せ、先生に伝えなきゃ……「いいのかい？」！！

そこにはレスラーマスクを被った子供の姿が……

「いって……それは……」

喧嘩を止めるのはいい事じゃないの？」

「それは確かにいいことだ  
だがそれじゃあヒーローになれない」

「俺は君にこう言った  
？ヒーロー分が足りない時には君がヒーローになれ？」

！？あの時の……

「今がその時だ」

「今が……その時……」

今がその時

「行って来い……なつてこい……ヒーローに」

「うん！」

その時なぜこんな決断を出来たのか分からないけど  
決断して良かったと思う

いい子じゃできなかった親友ができたのだから

「外交問題を解決してこい……」

が……がいこつ？

パッシーン！

「痛い？でも大切なものをとられちゃった人の心は、もっともっと  
痛いんだよ」

「ふむ……原作通りに行ったかこの後俺も介入して  
友達フラグを回収しそしてゆくゆく……ふひひ」

うへへ、モテる男は辛いぜ

何もしくとも勝手にハーレムが出来ちまうんだからな

「さて……」「待て!!」「!？」

「まさかと思うがあのヒーロータイムに介入する気か？」

ひ、ヒーロータイム？

「そ、そうだよ悪いのかい？（話し方を変える白夜……元佐藤一郎）

」

「当然だ!!あの中に入る事すなわち!

ゲームや漫画の話で盛り上がっている時に

「ねえねえ何の話？」とKY発言をする事に等しい!」

「グツ!!な、何だい君

も、もしかしてあれかい？

中二病って奴かい？あーイタター

そんな痛い奴に関わっている暇はないんでね

僕は行くよ」

「ちゅうにびよう？

そんなおかしな名前では無いヒーローだ!

通ると言っなら俺を倒して見せる!!」

「……あー!めんどくさい!!上等だ

お望み通りぶっ飛ばしてやるよ!!」

セットアップ！」

「Yes, my master」

「な、なんだそれは……だが！俺は！ヒーローは絶対屈しない！」

「うおおおお！！！」

「俺は強い！何故ならヒーローは強いからだ！！！」

「はあはあ

くそー！魔法を使っているのに5分も持つとか化け物か！！  
なのはは……ああ！もういない！

……まあいいまだ機会はある……はずだ」

「畜生……負けた……ヒーローが

負けるはずなのに……俺はヒーロー失格だ……  
強くなってやる……ヒーローになってやる！！  
うおおおおお！！先ずは腕立て伏せ百回だ！！

一、二、三、四、………」

結局この後の授業を丸サボりしたヒーロー……西園寺<sup>さいおんじ</sup>  
多摩<sup>たま</sup>  
は先生に何故サボったんだと聞かれると

「ふっ、先生ヒーローには秘密が付き物なんですよ」

と格好つけて廊下に立たされたそうな  
めでたしめでたし

## ヒーロープロローグと中二病（後書き）

実は高町がすぐ行かなかったのは

S・T事件（西園寺多摩事件）が微妙にトラウマ  
だからであった

余計な影響しか与えないぜヒーロー！

でも強いぜ！ヒーロー！

## ジャンクプロローグ(前書き)

読みにくいと思います

## ジャンクプロローグ

「だからね、何度も言ってるじゃないですか  
妹に優しくしろって」

「ふん、私も

何度も言ってるは

人形に

優しくする必要は無いつてね」

傍から見れば仲が悪い

親子だろうか

実際仲が悪いのだが

二人共睨み合いながらチエスを  
している

「あなたは人形、人形とフェイトに  
いますけどね、人形が喋りますか？  
人形が動きますか？」

フェイトは人形じゃないですよ」

「じゃあ人形は培養液の中から生まれるのかしら？」

「そんなの只の腹から生まれるか培養液から生まれるかの違いだけじゃないですか

大体ね、あなたはF・A・T・Eプロジェクトだからフェイトって安直過ぎですよ

俺何か、逆にしてE・T・A・Fでエタフですよ  
なんですかエタフって、ネーミングセンスがなさすぎですよ」

「う、うるさいわね」

「あなたはフェイトをアリシアに重ねすぎなんですよ  
あの子はフェイトです  
フェイトなんですよ」

「私がアリシアと人形の区別が出来ないとでも?」

「出来てないじゃ無いですか  
だからイライラしてフェイトに暴力を振るう」

エタフは俺にもねと続けて言う

「あなた前々から思ってたけど

よく創造主である私にそんな口が聞けるのね……  
あなたに利用価値がなかったら  
速効に廃棄置き場よ」

「早めの反抗期ですよ……それにね  
あなたは~~~~」

と長々とまた文句を言い続ける

「お、やった！王手ですよ王手！」

どうやらエタフが勝ったらしい

「ふう……確かに私の負けね……」

「それより、約束通りフェイトを一日、リニスの訓練を  
休ませてください」

「わかったわよ……でもね、エタフ……」

「これはチエスよ、王手は将棋よ……」

「腹から生まれるか培養液から  
生まれるかの違いと同じ様な物ですよ」

ジャンクプロローグ(後書き)

かなり短い

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6164z/>

---

リリカルマジカルナンカイル

2011年12月20日21時56分発行